



前回の“アレ”の時、和歌山はどうだった？

昨年はプロ野球阪神タイガースの38年ぶりの日本一で街が沸きました。前回優勝時の映像がテレビで流れて「なつかしいなあ」と思った和歌山県民の方も少なくないのでは。その初めての日本一となった1985年10月と、2回目の日本一となった2023年10月の38年間で、和歌山はどう変わったのか、人口統計から読み解きます。

右表は、1985年と2005年の国勢調査人口、2023年10月の推計人口を比較したものです。いわゆる「平成の大合併」で併した自治体については、85年・05年の人口に旧市町村の人口を加えています。85年比で人口が増加しているところは薄いオレンジ色、30%以上減少しているところは薄い水色を着色しています。なお、85年は国勢調査による和歌山県の総人口が最も多かった年にあたります。

一方、橋本市は20年国勢調査の時点では人口が減少しているものの、85年よりは人口が多くなっています。ベッドタウンとして住宅地が開発される時期が和歌山市などに比べて少し遅くなっていたことが影響して、ピークの人口を記録した時期が県全体のピークと

	2023年		2005年		1985年
	人口	1985年比	人口	1985年比	人口
県計	891,620	82.0%	1,035,969	95.3%	1,087,206
市部計	703,849	105.4%	662,749	99.3%	667,531
郡部計	187,771	44.7%	373,220	88.9%	419,675
和歌山市	348,446	86.8%	375,591	93.6%	401,352
海南市	45,974	68.4%	57,744	85.9%	67,218
橋本市	58,713	103.4%	68,529	120.7%	56,755
有田市	25,022	70.7%	32,143	90.8%	35,401
御坊市	22,329	73.3%	27,053	88.8%	30,450
田辺市	66,415	75.2%	82,499	93.5%	88,263
新宮市	25,700	63.5%	33,790	83.5%	40,465
紀の川市	57,209	88.8%	67,862	105.3%	64,431
岩出市	54,041	192.5%	50,834	181.1%	28,066
紀美野町	7,672	51.0%	11,643	77.4%	15,037
かつらぎ町	15,202	63.5%	19,670	82.2%	23,924
九度山町	3,512	47.5%	5,516	74.6%	7,395
高野町	2,735	38.8%	4,632	65.7%	7,054
湯浅町	10,445	60.8%	14,742	85.9%	17,171
広川町	6,456	71.7%	8,071	89.6%	9,003
有田川町	24,548	81.0%	28,640	94.5%	30,322
美浜町	6,341	70.1%	8,462	93.6%	9,042
日高町	7,724	110.7%	7,344	105.3%	6,975
由良町	5,019	54.1%	7,179	77.4%	9,273
印南町	7,357	69.3%	9,192	86.6%	10,619
みなべ町	11,267	73.8%	14,200	93.0%	15,261
日高川町	8,710	72.5%	11,305	94.2%	12,006
白浜町	19,572	77.5%	23,642	93.6%	25,264
上富田町	15,364	121.0%	14,775	116.3%	12,702
すさみ町	3,469	51.2%	5,293	78.1%	6,777
那智勝浦町	13,304	59.8%	18,185	81.7%	22,248
太地町	2,616	60.6%	3,506	81.3%	4,314
古座川町	2,274	49.6%	3,426	74.7%	4,584
北山村	374	54.5%	570	83.1%	686
串本町	13,810	54.9%	19,931	79.3%	25,148

2023年は10月1日時点の推計人口（和歌山県調査統計課）
2005年・1985年は国勢調査データ。

85年の阪神タイガースは「バックスクリーン3連発」に象徴される圧倒的な攻撃力をみせつけました。経済もバブル景気前後で、上り調子が続いていた時期でもありました。一方、2回目の日本一を果した23年は圧倒的な投手力とつなぐ打線が堅実な野球を繰り広げました。経済は「失われた30年」からの脱却がなかなか進まず、新型コロナウイルス感染症による人口減少・少子高齢化などもあいまって、どちらかといえば「地域をどう守るか」が強く意識されるようになってきました。

この38年という間がどれほど長かったか、そして地域のありようを如何に変えてしまったか、ということがわかりません。攻めの地域経営から守りの地域経営へ。変わらないといけないものがたくさんあるように思えます。

（志場久起）

SDGsに興味があるけれども何をしたいかわからない そんな市民や企業のみなさまへ...

国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」には興味や関心があるものの、何をしたいかわからない、そんな方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

SDGs 達成に向けた取り組みを進めるには、「ご自身の社業や活動の一環で SDGs 達成に向けた取り組みを進める」という方法だけでなく、「SDGs 達成に向けた取り組みを直接的・間接的に支援する」という方法もあります。

「わかやま NPO パートナシップ基金」は、SDGs 達成に向けた取り組みを間接的に支援することで、市民や企業・団体のみなさんが SDGs 達成に寄与できる仕組みです。事務局を担当するわかやま NPO センターに寄附をお寄せいただきましたら、審査委員会を経て、県内で SDGs 達成に向けて取り組みを進めている各種団体に資金助成の形で応援します（寄附金は全額、助成金の原資として活用されます）。

今年、SDGs ゴール 14「海の豊かさを守ろう」、ゴール 15「陸の豊かさを守ろう」の達成に向けた活動を実施している団体が支援の対象となります。寄附という形で SDGs 達成に関与できるわかやま NPO パートナシップ基金」を是非ご活用ください。

◆本基金への寄附は、税制優遇の対象となります。個人の場合は確定申告によって所得税等の還付が受けられます。法人の場合は損金に算入できる寄附金限度額が拡大されます。

◆集まった寄附の額を元に助成事業枠を設定し、支援を希望する NPO・ボランティア団体の募集をおこないます。

現時点では3万円の助成を10団体を対象に実施する計画です。

活動の流れ



ご参加の方法

- ▶1口3,000円から受け付けます。現金によるお支払いのほか、銀行振込（振込手数料はご負担ください）、クレジットカード決済（振込手数料はかかりません）がご利用いただけます。
- ▶次年度以降も継続してご支援いただける場合は銀行口座からの自動引落、クレジットカードからの継続決済のご利用が可能です。詳しくはお問い合わせください。
- ▶寄附金は毎年1月～12月の12か月間でとりまとめ、翌年1月に税額控除等に「必要な事項を記載した「寄附金受領証明書」をお送りします。
- ▶事業の成果についてはウェブサイト等で公開します。

くわしくは専用ウェブサイトをご覧ください。クレジットカード決済によるご寄附申し込みフォームもございます（右下QRコードからアクセスできます）。

<https://congrant.com/project/wakayamanpoc/7170>

【運営】

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター

〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12

TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp

【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】

